

# 産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業

## 趣旨

産業用ロボットは、生産性の向上・省力化を図るため、中部地域に集積する自動車製造の工程である溶接や塗装など、大企業中心に多数活用され、自動車産業の発展に貢献してきました。

一方、昨今の目まぐるしく変化する経済環境において、自動車産業を支える中小製造業は依然厳しい状況にあり、以下のような課題を抱えています。

- ・大企業生産拠点の海外移転に伴う国内部品製造・需要の減少
- ・生産ロットの減少（少量多品種化）による品種替えなど人手ニーズの増加
- ・景気回復による採用難・賃金上昇

こうした課題を解決する有力な手段としてロボットの活用が期待されていますが、以下のような要因があるため、中小製造業においては、ロボットの導入・活用が円滑に進んでいません。

### 【中小製造業側の課題】

- ・ロボットの導入効果や、自社の工程などにマッチするロボットが分からない
- ・SI企業（ロボット・システムの設計などを担う企業）とマッチングする機会が少ない
- ・ロボットを使いこなす能力が乏しい

### 【SI企業側の課題】

- ・ユーザーのニーズに対応できるSI企業が少ない
- ・特に、多様な製品・加工を取り扱う中小製造業に対応できるSI企業が圧倒的に少ない
- ・SI企業の規模が小さく、新規顧客獲得まで対応できない

そこで、これら課題を解決するために、名古屋工業大学が中心となり、SI企業やロボットメーカー、中小製造業などが参画する「産業用ロボット活用促進ネットワーク」を構築し、産業用ロボットの導入・活用を促進する取組を実施します。

## 実施内容

- (1) 中小製造業の自動化ニーズの調査（アンケート・ヒアリング調査）【7月頃】
- (2) 製造業におけるロボット活用事例の調査（ヒアリング調査、国等の支援実績事例調査）【8月頃】
- (3) 産業用ロボット活用促進ネットワークの形成（製造業やSI企業等によるネットワーク形成）【8月頃】
- (4) ロボット導入支援ガイドラインの策定（中小製造業がロボット導入の契機となる手引書）【11月頃】
- (5) ロボット活用セミナーの開催（ロボットの導入・活用に必要な講義・実習）【12月頃】
- (6) ロボット導入プロジェクトの創出支援（ものづくり企業・SI企業・ロボットメーカーをマッチングし、ロボット導入計画書作成や国のロボット導入実証事業獲得の支援）【2月頃】

## 実行委員会

委員長	名古屋工業大学副学長 産学連携センター長 江龍教授
委員	名古屋工業大学大学院工学研究科 梅崎教授
委員企業・団体	愛知県、協和工業(株)、杉松産業(株)、(株)タイテック、(株)デンソーウェーブ、NPO法人地域産業政策研究センター、(一社)日本ロボット工業会、(株)バイナス、(株)マクシスシントー、三菱電機(株)名古屋製作所、ミツイワ(株)、明治電機工業(株)、(株)安川電機
オブザーバー	経済産業省中部経済産業局

産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業実行委員会事務局  
 (名古屋工業大学 産学官連携センター)

電話 : 052-735-7349

E-mail : robot-network@adm.nitech.ac.jp